



全心連 一般社団法人
全国心理業連合会

一般社団法人 全国心理業連合会公認
全国統一認定資格

2025年度

上級・一般

プロフェッショナル心理カウンセラー
認定試験

案内パンフレット

願書・受験要綱



心理カウンセラー初の業界団体 一般社団法人全国心理業連合会（全心連）

心理 カウンセラー の役割の高まり

ストレスマネジメントが課題になっている現代社会では、特に「心理カウンセリング」の役割が重要になっています。もちろん、治療や投薬が必要な場合は、速やかに医師の手による診断が必要です。しかし、多くの場合、そこまで症状が悪化する前に、初期段階の悩みや軽度のうつ状態があります。その段階で適切に話を聴くことや対話を通して、相談者の心が軽くなり、気づきを得て、元気な状態に回復し、重度のうつ状態に進行するのを防止したり自殺を防止したりする効果があるのです。

たとえば仕事の悩みで不眠症に陥っている方には、睡眠薬で解決を図るだけでなく、悩みをじっくり聴き、時に心理療法を行いながら、対話を通して問題を整理し、自己発見・自己成長を通して問題を解決していくアプローチが有効な場合も多いのです。

心のケア サービスの現状

2000年に入り、「カウンセリング」や「カウンセラー」という言葉は、非常にポピュラーになりました。相談＝カウンセリング、というイメージが社会に定着してきた一方で、「心理」カウンセリングの範疇に入らないものも含めて、カウンセリングと呼ばれるようになりました。また、自称カウンセラーと名乗っている人の倫理観が、メディアで問われたのもこの頃でした。

ただ悩みをじっくり聴いてほしいと思っている相談者にとっては、どこに相談に行ったらいいのかわからない、自分が訪れようとしているカウンセラーは本当に大丈夫なのか、という思いを抱えながら、カウンセラーを探さなければならないという一面があります。

一般社団法人 全国心理業 連合会設立

このような現状を踏まえて、心理業の健全な発展と、誰もが安心して心のケアサービスを受けられる文化の創造をめざして、一般社団法人全国心理業連合会は設立されました。産業・災害対策・福祉など幅広い分野の第一線で活躍している心理カウンセラーや、心理カウンセリングやメンタルトレーニングサービスを提供している企業・団体によって、2010年12月に発足した、日本で初めての心理カウンセラーの業界団体です。

心理カウンセラーの資質や技能向上への取り組み、統一認定資格の制度構築、不適切な基準や表現を行っていると思われる企業への是正勧告等を行っています。また、2011年からは、東日本大震災の震災ケアのために「チームジャパン 300」というボランティアプロジェクトを立ち上げ、2022年3月まで、被災地において自治体への協力の下、被災者に対する心のケアボランティア活動を継続して行ってまいりました。2022年5月からは、戦争トラウマを抱えるウクライナ避難民のための「ウクライナ心のケア交流センター」を立ち上げ、心のケアボランティア活動を行っています。

現在、有資格者の活動支援等を、一般社団法人プロフェッショナル心理カウンセラー協会へ移管し、主に資格発行を中心とした活動を行っています。また、国や自治体からの事業を受託しており、2014年・2015年には経済産業省の多様な「人活」支援サービス創出事業、2018年・2019年には厚生労働省からのSNS相談事業を受託致しました。

全心連で行っている具体的な活動内容

- 1：心理カウンセラーならびに心理業全般の資質向上のための活動
- 2：全国統一認定資格「プロフェッショナル心理カウンセラー」、「ストレスチェックコンサルタント」発行
- 3：不適切な基準や表現を行っている企業／団体への是正勧告
- 4：被災地支援等ボランティアプロジェクト
- 5：国や自治体からの受託事業（経済産業省、厚生労働省等）

心理カウンセラーが活躍する代表的な分野

企業・産業分野

企業活動において従業員のメンタルサポートは重要な経営課題になっています。実際に企業従業員の半数以上が強いストレスや不安を感じており、約6%がメンタルな課題のサポートを必要としています。従業員のストレスマネジメント、メンタルサポートが職場に占める重要性はさらに増しており、企業では福利厚生施策の一環として産業医、保健師、心理カウンセラーを使い分けて従業員のメンタルサポート対策を行っています。心理カウンセラーは、職場や仕事の悩みを抱えた従業員や軽度のうつ状態の従業員に対して、電話相談や社内相談室などの相談員として、症状を初期段階で食い止め改善する役割を担っています。また、健康な状態の従業員に対する予防的観点で、教育研修も幅広く行っています。なお、2015年12月からのストレスチェックの義務化に伴い全心連では、ストレスチェック制度を熟知し、一連の流れをサポートし、この制度が企業のメンタルヘルス対策として効果的に作用するよう、コンサルテーションを行う人材として、「全心連公認ストレスチェックコンサルタント」資格を発行しています。

福祉分野

虐待、DV、依存症、セクシュアルマイノリティなどの福祉分野では、企業・産業分野や教育分野に比べると、NPO法人や、精神科医・公認心理師・心理カウンセラーの中で使命感を持って取り組んでいる、限られた人々によって支えられているのが実態です。特にこの分野では、医師や公認心理師の中で取り組んでいる人が比較的少なく、自らの体験や現場における経験を通して相談業務に当たっている心理カウンセラーの持つ役割が大きいことが、各方面で指摘されています。

こうした福祉分野においては、投薬などの治療よりも、あるいは心が傷を負うメカニズムの解説よりも、なによりもまず、傷ついた心の声に耳を傾け、丁寧に傾聴し、たくさんの思いを受け止めることが求められます。たとえば全心連が自治体から受託していたマイノリティに関する相談室（電話相談・メール相談）では、世間の「マジョリティの常識」にあてはめて「更正」しようとするよりも、本人の現実とマイノリティとしての苦しみをまず理解して受け止め、自分らしく生きていくことができること、そして生き方を模索していくサポートを行っていくことを大切にしています。

災害対策 事件・事故後の 心のケア

災害や事件・事故など、社会的に大きな出来事が起こった後、心のケアが必須と言われる時代になりました。惨事ストレスや絶望感、PTSDや将来に対する不安などからうつ状態に陥る方がとても多く、悪化すると自殺リスクが高まると言われています。心理カウンセラーは、軽度なうつ状態の方々の話を聴くところから、自殺が懸念される方のサポートまで、幅広い範囲での心のケアに重要な役割を果たしているのです。

たとえば、全心連のプロジェクトでもある東日本大震災後の心のケア「チームジャパン300」、戦争トラウマを抱えたウクライナ避難民への心のケア「ウクライナ心のケア交流センター」は、まず幅広い生活支援を行い、できることを探し、役に立つことは何でもやることを明確な方針としています。災害対策、事件・事故後の心のケアで活動するカウンセラーは、部屋で座って待っていればよいものではありません。自ら、人々の生活の現場に出掛ける、片付けやバザーでも手伝えることを手伝う。その中で、人々にお声がけをしてお話を伺う。そうした過程の中で少しずつ、なかなか話せなかったことをお話しいただけるようになるのです。一過性の活動として終えることなく、半年、1年、3年、5年、10年と継続した時間の中で、しっかり向き合い心のケアサポートを行っていく。これが全心連のプロジェクトであり、真のカウンセラーの活動なのです。2024年1月からは、能登半島地震の心のケア活動を行っています。

SNS カウン セリング

2017年に起きた座間市の事件では、加害者がSNSを利用し、自殺願望を投稿するなどした被害者の心の叫びにつけこみ、言葉巧みに誘い出し、殺害しました。悩みや苦しみを抱えた相談者がSNSで犯罪者につながるのではなく、信頼できる相談員につながることは、特に小さいころからSNSでのコミュニケーションに慣れ親しんでいる若者を中心に、喫緊の課題であると言えます。

全心連では、国としてはじめて本格的に導入された、2018年3月の厚生労働省自殺対策強化月間からSNSカウンセリングに携わっています。匿名性の高さや声を出すことのできない環境の中でも、SOSを出すことができる手段として、SNSカウンセリングのニーズは高まっています。自殺・いじめ・DV・虐待・ひきこもり・誹謗中傷・新型コロナウイルス感染症関連心の相談など、厚生労働省・文部科学省・全国の自治体、業界団体・大手企業等から依頼を受け、多くのプロフェッショナル心理カウンセラーが活動しています。プロフェッショナル心理カウンセラーの受験資格には、一般財団法人全国SNSカウンセリング協議会指定のSNSカウンセラートレーニングの受講を必須とし、クオリティの担保も図っています。

全心連公認 全国統一認定資格 プロフェッショナル心理カウンセラー

心理 カウンセラー の資格の現状

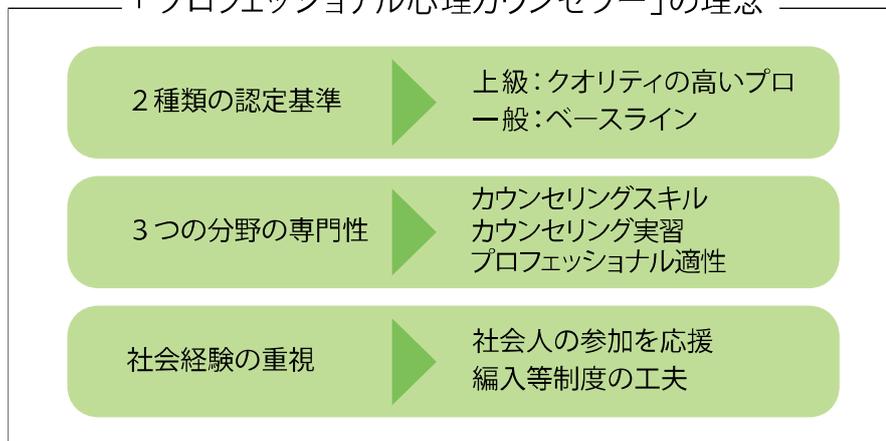
心理カウンセラーの領域には、数多くの任意資格があります。さまざまな協会・任意団体やカウンセラー養成スクールが、それぞれ独自の考え方で独自の資格を独自の基準で設けてきたのが実情です。このような状態では、カウンセラーとして活動するために最低限必要な資質も明確にならず、育成のカリキュラムも質の高いものからお手軽なものまで入り乱れ、カウンセラー自体が玉石混淆の曖昧な存在になってしまいます。

全国統一の 基準を制定

そのような業界の実態に危機感を感じた有志が集まり、心理カウンセラーの全国統一認定資格が制定されました。

長年活躍してきた経験豊富な熟練心理カウンセラーや、質の高いカウンセラーを送り出してきた養成スクールの経営者が一堂に会し、議論に議論を重ね、臨床心理士とは異なる資質をもつ心理カウンセラーの特徴や強みを活かして、日本のメンタルサポートをより充実した素晴らしい未来にしていくための「プロの心理カウンセラーの資格」を定めたのです。

「プロフェッショナル心理カウンセラー」の理念



認定教育機関 とは

プロフェッショナル心理カウンセラー受験資格には、認定教育機関が推薦する推薦状が必要です。プロフェッショナル心理カウンセラーが持つそれぞれの独自の心理療法やカウンセリングのスキルの領域は、1つの分野にこだわらず、幅広く多くの種類の心理カウンセラーたちが存在することを認めています。ただし、プロフェッショナル心理カウンセラーの申請にはきちんとしたある一定時間数の修業履歴が必要となるため、認定教育機関がその受験生の身元を保証する形で審査書類を受け取り、正しく審査し、その上で推薦状を書くという段階を踏んでいます。

認定教育機関 の申請条件

1 プロフェッショナル心理カウンセラーを育成するプログラムがあること。

プロフェッショナル心理カウンセラーになれるだけの時間数の心理教育サービスを行なっていることが条件です。一般では246時間以上、上級では1,282時間以上のことを修業するプログラムが存在していることが必要です。自社で全てが網羅できない場合には、他の認定教育機関と提携し、座学・実習・倫理観のフォローアップにおいて全ての研修が受けられることが前提です。

2 以下の倫理観をもって教育を行なっていること

心理カウンセラーには、モラルや人間性、また社会的常識等の倫理的な観点と、高い対応力を求めます。特にかかわり行動や聴き方のスキルは、プロフェッショナル心理カウンセラーの根底となるので、このあたりの教育も合わせて積極的に行っていくこと。また、宗教・スピリチュアル等とのカリキュラムが混在しているものに関しては、心理カウンセリングのプログラムとは認められません。

3 認定教育機関の申請には、審査があります

審査にあたっては、全心連のスタッフが直接、現地に調査に赴いてレポートを提出し、審査と実態の一致、健全なコミュニケーションや適切な教育であること、スピリチュアルなどと混在していないことを確認させて頂き、その上で認定教育機関と定めさせていただきます。また、更新制度により、質の安定をはかります。

一般社団法人全国心理業連合会公認 全国統一認定資格 プロフェッショナル心理カウンセラー 第1回合同認定式

2013年1月20日(日)アイビーホール(東京青山)にて約250名の方々がお越し下さいました。代表理事による基調講演、映像、ゲストトークライブを通して、社会の中でプロフェッショナル心理カウンセラーに求められていることや、活動にあたっての大切なポイント、プロとしての行動規範や倫理に対する理解を深めました。授与式では代表理事より、認定証書・バッジの授与が行われました。



写真①：ゲストトークライブ
②：成績優秀合格者
③：米田功よりご挨拶
④：代表理事基調講演
⑤：代表理事より授与

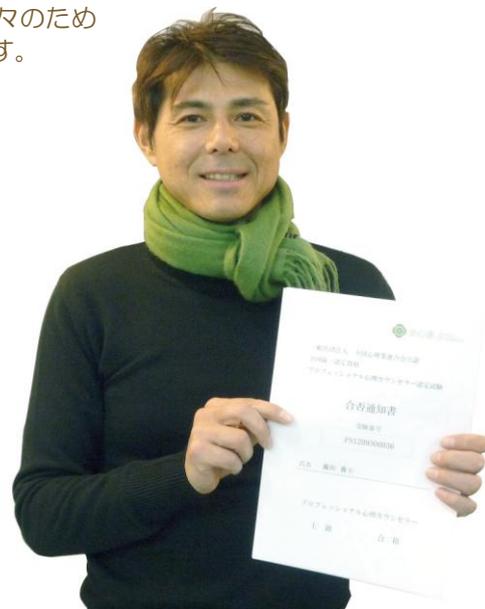
私たちもプロフェッショナル心理カウンセラーです

アテネオリンピック金メダリスト 米田 功

現役を引退してから、心理カウンセリングやメンタルトレーニングを学ばせてもらって、自分にとってすごく大事な部分を教わることができました。上級試験に合格した今、今後はプロフェッショナル心理カウンセラーとして、また体操指導者としても、違うステージでさらに学びを深めていきたいと思えます。心理カウンセラーとして活躍されていくみなさんも、悩んだり、苦しんだりされている方々のために、がんばっていただきたいと思っています。

スポーツジャーナリスト 吉田 貴志

この度、上級試験に合格し、プロフェッショナル心理カウンセラーの資格を取ったことで、仕事の幅もかなり広くなると思っています。トップアスリートの多くから、最後はメンタルだ、という言葉が聞きました。自分も学んで資格を取る中で、やっぱり本当にそうなんだということを実感しています。みなさんのおかげでここまで来ることができたので、私としてはこれにプラスして、スポーツとメンタルとをドッキングした形で、全国のみなさんに伝えていければと思っています。



プロフェッショナル心理カウンセラー 認定試験



資格概要

一般社団法人全国心理業連合会では、「プロと呼ぶにふさわしい」心理カウンセラーの資質と基準を明確にするために、全国統一認定資格である「プロフェッショナル心理カウンセラー」認定制度を構築しました。社会経験を重視し、人とかかわったキャリアも資格として評価されます。

この認定資格には、「上級」と「一般」があります。国家資格である精神保健福祉士と同様の履修時間数であるレベルと、心理カウンセラーとして活動を始めるベースラインとなるレベルを示し、心理業界初の全国統一認定資格となります。

上級：クオリティの高いプロと呼ばれるにふさわしい基準

一般：プロフェッショナル心理カウンセラーとして名乗れる最低基準

資格取得要件としては「カウンセリングスキル」「カウンセリング実習」「プロフェッショナル適性」という3つの分野の専門教育を重視します。

「カウンセリングスキル教育」

- ・心理学の専門知識の教育
- ・「講義」にとどまらず、ロールプレイやケーススタディの重視

「カウンセリング実習研修」

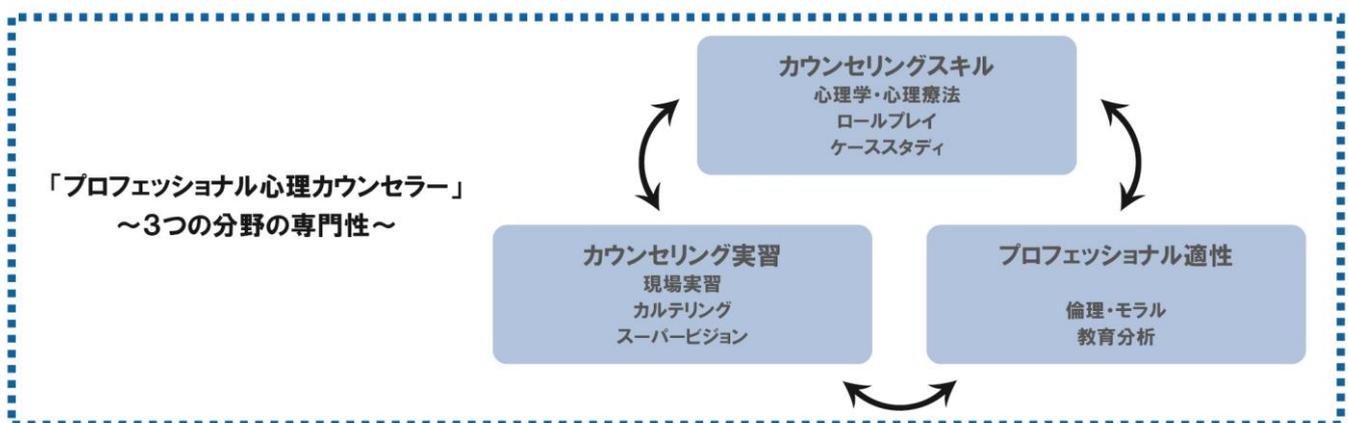
- ・専門知識履修を済ませた後は、現場での実習研修／カルテリングを徹底して行う。
- ・心理カウンセラーは、数多くの「現場」と「クライアント」を持っていることが特徴であり強み。
- ・カウンセリング実習には、ボランティア活動も組み入れ、自主的な社会活動を積極的に評価する仕組みとする。

「プロフェッショナル適性訓練」

- ・心理カウンセラーの職務は、「知識によって相手を判断」することではなく、「相手を受け入れて心に寄り添うこと」であるという認識に基づき、徹底したプロフェッショナルリズム教育と、教育分析を行う。これは他の資格には見られないプロフェッショナル心理カウンセラーの特色。

また、履修に当たっては社会経験を重視します。

NPO 法人職員や企業管理職経験者など、「人をサポートした社会経験」を評価して実習研修に編入します。社会人が、4年制大学に再入学しなくても自分の経験を活かしてメンタルサポート専門職として活動することを応援する資格であり、たとえば法務省・法務局職員の方々も資格取得されました。



資格付与基準※上級・一般共

受験資格

- ・プロフェッショナル心理カウンセラー認定試験を受験するためには、認定教育機関において定められた履修カリキュラムを修了し、推薦を受けなければならない。
- ・受験資格要件：認定教育機関による履修カリキュラム修了証明、および推薦状

資格試験

- ・プロフェッショナル心理カウンセラーは、全国心理業連合会が実施する認定試験に合格し、プロフェッショナル心理カウンセラー協会に登録することで付与される。
- ・資格試験は、筆記試験、および審査員による口頭試問とする。

履修カリキュラム

カウセリングスキル教育		●心理学全般 ●心理療法	●ロールプレイ ●ケーススタディ
上級 450 時間	<ul style="list-style-type: none"> ● 座学とロールプレイ：150時間 ・ 講座 ・ ロールプレイ ・ SNSカウンセラートレーニング（10時間）必須 ※座学・ロールプレイ150時間は必須 ※ケーススタディレポートを、座学やロールプレイ受講でも可 	<ul style="list-style-type: none"> ● ケーススタディレポート：300時間 ・ 30課題×10時間 ・ 座学で学んだ心理療法を、日常生活に応用すると仮定してテーマを設定し、レポート作成 ・ テーマは30課題 レポート作成に必要な時間の目安、1課題あたり、10時間を想定 	
一般 160 時間	<ul style="list-style-type: none"> ● 座学とロールプレイ：150時間 ・ 講座 ・ ロールプレイ ・ SNSカウンセラートレーニング（10時間）必須 	<ul style="list-style-type: none"> ● ケーススタディレポート：10時間 ・ 1課題×10時間 	

カウセリング実習研修		●現場・インターン（仕事／ボランティア） ●カルテリング	●スーパービジョン
上級 650 時間	<ul style="list-style-type: none"> ● 現場とカルテ：600時間 ※社会経験による優遇措置あり ・ 現場：300時間 ・ 企業、福祉、災害支援など、臨床研修と認定できる現場 ※もちろん現場を600時間、でも可 	<ul style="list-style-type: none"> ● カルテリング：300時間 ・ 現場300時間に対し、必要なカルテリングの時間として、目安300時間と想定 	
一般 60 時間	<ul style="list-style-type: none"> ● 現場とカルテ：60時間 ・ 現場：30時間 ・ 企業、福祉、災害支援など、臨床研修と認定できる現場 ※ スーパービジョンなし 	<ul style="list-style-type: none"> ● カルテリング：30時間 ・ 現場30時間に対し、必要なカルテリングの時間として、目安30時間と想定 	

プロフェッショナル適性訓練		●教育分析（カウンセリングを受ける） ●倫理・モラル教育
上級 182 時間	<ul style="list-style-type: none"> ● 倫理研修：32時間 ・ フォローアップレポート提出必須 ※32時間必須 ◎ 倫理教育とは ・ カウンセラーに必要な法律の理解 ・ カウンセラーとしての姿勢 ・ カウンセラーとしての行動規範 ・ 知識を深めるディスカッション 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育分析：150時間 ・ 受ける時間が50時間 ・ カルテ作成が100時間 1：クライアントとしての気づき 2：カウンセラーとして自己分析 3：自分に行なわれた技術の分析 ※受ける時間が50時間必須 ※受ける時間が150時間であっても可
一般 26 時間	<ul style="list-style-type: none"> ● 倫理研修：6時間 ・ フォローアップレポート提出必須 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育分析：20時間 ・ 受ける時間が10時間 ・ カルテ作成が10時間 クライアントとしての気づきのみで可

社会経験換算表

プロフェッショナル心理カウンセラーは、社会経験が受験資格として対象となります。知識の学習時間だけではなく、仕事や社会経験がプロのカウンセラーとしての条件にふさわしいと考えています。

【上級】

カウンセリング実習研修 600 時間（現場実習 300 時間及びカルテリング 300 時間）のうち、300 時間（現場実習 150 時間及びカルテリング 150 時間とする）までは、社会経験から時間数を補完できるものとする。

職 業	300 時間に相当する年数	備 考
医師（精神科、心療内科、産業医以外）	2 年	
医療従事者（医師を除く）	3 年	看護師・保健師等
精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士	3 年	
シニア産業カウンセラー	3 年	
福祉従事者（精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士を除く）	5 年	ヘルパー・保育士等
教育関係従事者	5 年	教員等
セラピスト（心理以外）	5 年	アロマセラピスト等
産業カウンセラー	5 年	
全心連指定心理系資格	資格内容による	認定教育機関にてご確認ください
管理職経験者（部下あり）	10 年	

※就業日数は最低週 3 日以上、週 2 日以下の場合は 300 時間に相当する年数を倍にして計算

※職場からの証明書を認定教育機関に提出必須

※上記はあくまでも 300 時間に相当する年数であり、時間数の補完は 1 年以上から可能、とする（つまり、医師であれば 1 年勤務で 150 時間相当）

※時間数の補完の計算にあたり、1 年以上、半年単位で計算してよい（つまり、医師であれば、1 年半勤務だと 225 時間相当）

【一般】

カウンセリング実習研修 60 時間（現場実習 30 時間及びカルテリング 30 時間）のうち、30 時間（現場実習 15 時間及びカルテリング 15 時間とする）までは、社会経験から時間数を補完できるものとする。

職 業	30 時間に相当する年数	備 考
医師（精神科、心療内科、産業医以外）	1 年	
医療従事者（医師を除く）	1.5 年	看護師・保健師等
精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士	1.5 年	
シニア産業カウンセラー	1.5 年	
福祉従事者（精神保健福祉士、社会福祉士、介護福祉士を除く）	2.5 年	ヘルパー・保育士等
教育関係従事者	2.5 年	教員等
セラピスト（心理以外）	2.5 年	アロマセラピスト等
産業カウンセラー	2.5 年	
全心連指定心理系資格	資格内容による	認定教育機関にてご確認ください
管理職経験者（部下あり）	5 年	

※就業日数は最低週 3 日以上、週 2 日以下の場合は 30 時間に相当する年数を倍にして計算

※職場からの証明書を認定教育機関に提出必須

※上記はあくまでも 30 時間に相当する年数であり、時間数の補完は 1 年以上から可能、とする（つまり、福祉従事者であれば 2 年勤務で 24 時間相当）

※時間数の補完の計算にあたり、1 年以上、半年単位で計算してよい（つまり、福祉従事者であれば、1 年半勤務だと 18 時間相当）

受験基準

受験に際しては、P06 の履修カリキュラムの基準を満たしていることと、認定教育機関の推薦状が必要となります。

上 級

- (1) 認定教育機関において「プロフェッショナル心理カウンセラー履修カリキュラム」を修了し、かつ認定教育機関より推薦を受けた者。
- (2) 企業・教育・医療・福祉等の分野において人をサポートした社会経験があり、認定教育機関において「プロフェッショナル心理カウンセラー履修カリキュラム」を修了（カウンセリング実習研修は一部修了）し、かつ認定教育機関より推薦を受けた者。社会経験に関しては、P07 記載の「社会経験換算表」に基づき、認定教育機関の審査を受けること。
- (3) キャリアコンサルタント（国家資格）、キャリアコンサルティング技能士（キャリアコンサルティング技能検定（国家検定）合格者）1 級、2 級取得者で、「プロフェッショナル心理カウンセラー履修カリキュラム」のうち別途定める時間数を修了し、認定教育機関より推薦を受けた者。
- (4) 心理カウンセラーとして 6 年以上仕事をしている者は、全心連理事会での理事決議により、受験資格の付与もしくは書類審査により資格認定するものとする。
- (5) 医師免許取得者で、取得後、精神科、心療内科等の診療科において 2 年以上の経験、または産業医として 2 年以上の経験を有する者は、全心連理事会での理事決議により、書類審査にて資格認定するものとする。

一 般

- (1) 認定教育機関において、「プロフェッショナル心理カウンセラー履修カリキュラム」を修了し、かつ認定教育機関より推薦を受けた者。
- (2) 企業・教育・医療・福祉等の分野において人をサポートした社会経験があり、認定教育機関において「プロフェッショナル心理カウンセラー履修カリキュラム」を修了（カウンセリング実習研修は一部修了）し、かつ認定教育機関より推薦を受けた者。社会経験に関しては、P07 記載の「社会経験換算表」に基づき、認定教育機関の審査を受けること。
- (3) キャリアコンサルタント（国家資格）、キャリアコンサルティング技能士（キャリアコンサルティング技能検定（国家検定）合格者）1 級、2 級取得者で、「プロフェッショナル心理カウンセラー履修カリキュラム」のうち別途定める時間数を修了し、認定教育機関より推薦を受けた者。

受験にあたっての配慮

障がいをお持ちの方や外国籍の方々等への配慮があります（申請書類については P13 をご確認ください）。出願時に申請を行って下さい。

よくあるお問合せ

Q1

「プロフェッショナル心理カウンセラー」の特徴は？

心理カウンセラーの水準を高め、かつ資格を共通化することで心理カウンセラーの実力を証明するために、すでに熟練の心理カウンセラーや多くの優秀な心理カウンセラーを輩出している団体が検討を重ね、全国統一認定資格「プロフェッショナル心理カウンセラー」が誕生しました。

当資格の認定基準では、3つの分野の専門性＜カウンセリングスキル教育、カウンセリング実習研修、プロフェッショナル適性訓練＞と社会経験を重視しています。心理カウンセラーには、座学で得た知識だけではなく、実践を通じて獲得するスキルが必要です。さらには、これまでの社会人として培った経験値を活かしていくことが現場では求められているからです。上級と一般の2つのレベルを設定しています。

Q2

全国統一認定資格を取得したらどんなメリットがありますか？
また、どんな活動ができるのでしょうか。

メリットは次のようなことがあげられます。

1. 全国統一認定資格ですから、企業に対しても、個人に対しても自信をもって「プロフェッショナル心理カウンセラー」として実力を証明することができます。
2. 名刺、履歴書、プロフィールなどに「一般社団法人全国心理業連合会公認 全国統一認定資格 プロフェッショナル心理カウンセラー」と記載できます。
3. 求人情報の提供を受けられます。
4. カウンセリングルームの開設、開業について助言を受けることができます。
5. 各種セミナー等に参加し、さらなる研鑽をつむことができます。
6. プロフェッショナル心理カウンセラーとしてのネットワークを築けます。

2025年度 試験スケジュール・出題範囲※上級・一般

試験スケジュール

【第30回】上級・一般共通

出願受付期間	2025年7月1日(火)～2025年8月1日(金)
一次試験(筆記)	2025年9月7日(日) 上級 13:00～17:00/一般 13:30～16:30
一次試験可否	2025年10月1日(水)
二次試験出願期間	2025年10月1日(水)～2025年10月12日(日) (インターネット出願のみ)
二次試験(実技)	2025年11月2日(日) 10:00～18:00 うち10～30分
最終合格発表	2025年12月3日(水)

【第31回】上級・一般共通

出願受付期間	2026年1月3日(土)～2026年2月2日(月)
一次試験(筆記)	2026年3月1日(日) 上級 13:00～17:00/一般 13:30～16:30
一次試験可否	2026年4月1日(水)
二次試験出願期間	2026年4月1日(水)～2026年4月12日(日) (インターネット出願のみ)
二次試験(実技)	2026年5月3日(日) 10:00～18:00 うち10～30分
最終合格発表	2026年6月3日(水)

出題範囲

<一次試験>

【上級】

筆記試験(多肢選択式): 心理学全般、心理療法、事例、倫理等、P06の「プロフェッショナル心理カウンセラー履修カリキュラム」全般より出題されます。

筆記試験(記述式): 事例及び小論文にて行います。

試験時間は、多肢選択・記述式合わせて4時間。

【一般】

筆記試験(多肢選択式): 心理学全般、心理療法、事例、倫理等、P06の「プロフェッショナル心理カウンセラー履修カリキュラム」全般より出題されます。

試験時間は3時間。

<二次試験>

【上級】

ケースに基づいたロールプレイ、並びに事例や資質に関する口頭試問を行います。

試験時間は20～30分。

【一般】

ケースに基づいたロールプレイを行います。

試験時間は10～20分。

オンライン接続の 注意点

名前の表示はフルネームで、接続前に変更をしておいてください。(受験票と同じ表記でないと入室許可ができません) 一次試験の接続は、必ずPCでお願いいたします。

一次試験当日の流れ

- ・事前に、試験問題、解答フォーム、在宅試験の注意事項等が保存されたURLを所属の認定教育機関からメールでお送りいたします。当日は、パスワードを入力する画面を表示しておいてください。パスワードは、試験開始直後に試験官よりお伝えします。
- ・試験問題を見ながら、解答フォームへ入力していきます。PC上で複数画面を開きますので、不慣れな方は事前に確認をしておいてください。
- ・画面上で発言をする際は、ミュートを解除、お名前をお伝えいただいてから発言してください。

二次試験当日の流れ

- ・受験票に記載の試験時間の5分前までに接続し、待機室でお待ちください。
- ・準備ができましたら、係員が入室許可を行います。試験官に、受験票に記載の受験番号、お名前、試験時間をお伝えください。

出願方法

24 時間出願・合否確認ができる「インターネット出願」を用いたオンライン出願となります。

<準備するもの>

- ・PC、スマートフォン
- ・写真データ
- ・推薦状データ

**※紙の願書で出願希望の方は、所属の認定教育機関にお問い合わせください。
なお、紙での願書受付は第 30 回までとなります。**

「インターネット出願」のご案内

(1) 「インターネット出願」の URL 又は QR コードは認定教育機関からの連絡となります。

※「インターネット出願」のマイページへのアクセス URL は保存してください

(2) ログインをしたら、「はじめて出願される方」をクリックし、アカウント・基本情報の登録を行い、該当する試験の出願を行ってください。
(具体的な流れは P11-P12 をご確認ください)

(3) 写真・推薦状は、データをアップロードして下さい。
「インターネット出願」での出願の流れの説明のところに、郵送の準備という表記がありますが、全心連の試験については郵送書類はございません。

(4) 受験料のお支払（振込みや決済にかかる費用はご負担下さい）
振込み（振込み手数料）
コンビニ・ATM・インターネットバンキング・クレジットカード
(決済手数料一律 800 円税別)

(5) 受験票は、マイページから各自ご確認ください。※出力もできます

(6) 合否通知は、マイページから各自ご確認ください。※出力は出来ません
出願は、一次試験、二次試験とで 2 回申請していただきます。

受験に際しては、P06 の履修カリキュラムの基準を満たしていることと、認定教育機関の推薦状が必要になります。認定教育機関より推薦状の発行を受けて下さい。

よくあるお問合せ

Q3

すでに取得している
心理カウンセラー資格と
どちらが役立ちますか？

当資格とすでに取得の資格を両方もたれると、心理カウンセラーとしての信用力が高まります。当資格では心理カウンセラーとしての全国的に質の高い心理カウンセラーであるということが示せますし、たとえばあわせて産業カウンセラー資格をもっていれば、さらに産業分野、企業、組織の問題に強いカウンセラーであるということが明確になります。どちらが役に立つかを比較するというより、複数の資格を取得することで心理カウンセラーとしての価値をさらに高めるように使うのがいいでしょう。

Q4

一般をとばして、上級を
取得することができますか？

推薦基準を満たしていれば、上級から受けることが可能です。推薦基準を満たしているかどうかは認定教育機関にご確認ください。

Q5

昔(十年以上前)保育士で十年
以上のキャリアがありますが、
補完してもらえますか？
また、資格はないが、(自称)
音楽セラピストとして
ずっと活動しています。
補完してもらえますか？

カウンセリング実習研修に充当できる社会経験に関しては、現在のところ、何年以上前までという規定はありません。昔の職場に証明書を出していただけそうかを確認して下さい。また、自称、にて活動されている場合は、カウンセリング実習研修にカウントすることは可能です。たとえばクライアント先に活動していることの証明を出していただけそうかを確認して下さい。

どちらの場合も、証明書を取得できない場合は、現場に関する詳細な記述書類を認定教育機関にご提出下さい（書類審査の結果、認められない場合があります）。

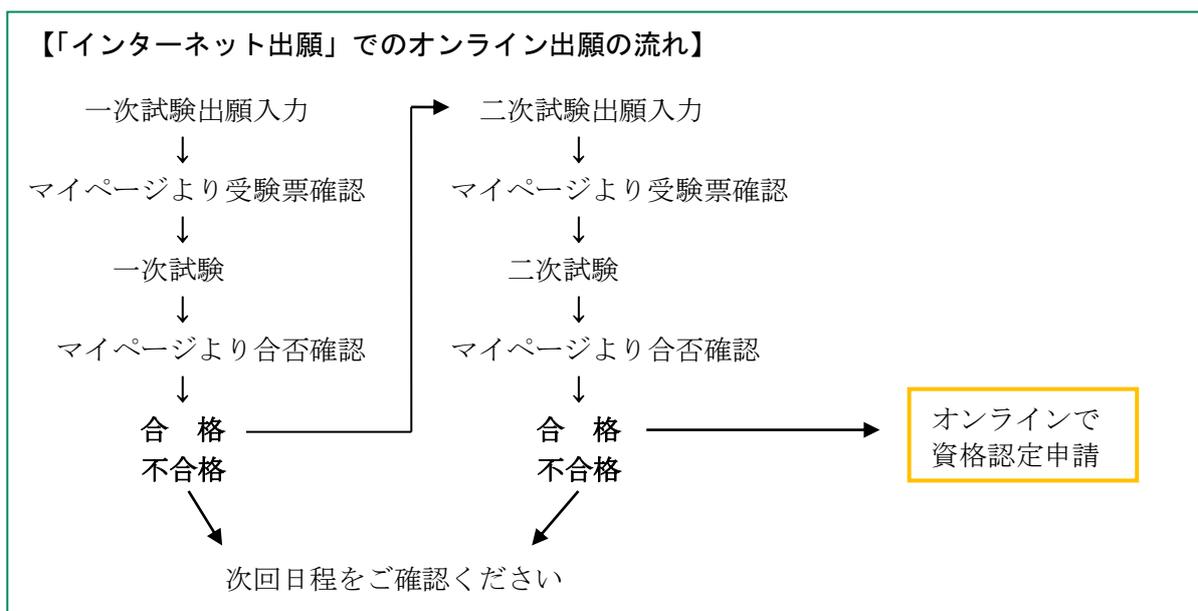
プロフェッショナル心理カウンセラー上級・一般 認定試験 「インターネット出願」でのオンライン出願



必要事項

- (1) 出願受付
- 「インターネット出願」の URL 又は QR コードは認定教育機関からの連絡となります。
- ※紙の願書で出願希望の方は、所属の認定教育機関にお問い合わせください。
なお、紙での願書受付は第 30 回までとなります。**
- ※「インターネット出願」のマイページへのアクセス URL は
保存してください**
- <ご準備いただくもの>
- ・パソコンまたはタブレット・スマートフォン
 - ・写真データ
 - ・認定教育機関からの推薦状データ
- <注意点>
- 専門学校用のシステムを使用していますので、一部表記に学校仕様の部分がありますが、ご了承ください。また、**郵送書類はございません。**
- 入力の際の注意点**
- ・学歴（本人） ・・・・「その他」を選択し、入力欄にも「その他」と入力してください
 - ・最終学歴 ・・・・必須ではございませんので、入力不要
 - ・直近の職歴 ・・・・必須ではございませんので、入力不要
 - ・免許、資格 ・・・・必須ではございませんので、入力不要
- (2) 受験料支払い
- 38,500 円（税込み）、支払方法ごとの手数料（P10 参照）**
- ※受験料等は変更になる可能性があります。ご了承下さい。
- 受験料のお支払いは「インターネット出願」にて行います。「インターネット出願」で出願後 1 週間以内にお支払い下さい（手数料はご負担下さい）。
- 願書受付期間以外に入金された場合の受験料は返還致しかねます。
- なお、受験料納入後は、受験料返還及び次回試験以降へ繰り越しはできません。
- 「インターネット出願」から受験料の決済方法をお選びいただき、お支払いは願書受付期間内をお願いします。
- (3) 一次試験接続テスト
- 1 週間前には認定教育機関より、接続テストの日程と時間、接続先 URL をメールでお送りいたしますので、試験当日と同じ環境でテストを行ってください。
- (4) 一次試験受験票
- 「インターネット出願」のマイページでご確認下さい。**
- (5) 一次試験（筆記）
- 会場：在宅（詳細は P09、P13 をご参照下さい）
- (6) 一次試験合否
- 合否結果は、マイページにアクセスしていただきご確認ください。
結果は、データでのみ確認頂けます。
- (7) 二次試験出願
- マイページより、「すでに出願された方」を選択し、二次試験の出願を行ってください。** 二次試験の出願は、一次試験の情報を一部引き継ぎますので、スムーズに出願いただけます。
- (8) 二次試験接続テスト
- 1 週間前には認定教育機関より、接続テストの日程と時間、接続先 URL をメールでお送りいたします。試験当日と同じ環境でテストを行ってください。

- (9) 二次試験受験票 **「インターネット出願」のマイページでご確認下さい。**
 ※二次試験の時間帯は受験者数により変更があります。
 ※各受験者の試験時間は、二次試験の出願をされた方にお知らせします。
- (10) 二次試験（実技） 会場：在宅（詳細はP09、P13をご参照下さい）
- (11) 最終合格発表 可否結果は、マイページにアクセスしていただきご確認ください。
 結果は、データでのみ確認頂けます。
 合格された方には、「インターネット出願」のメッセージに資格申請方法のご案内をお送りします。
- (12) 資格認定申請
 手続き 手続き期間は、資格申請方法のご案内をご確認ください。
 資格認定を希望される方は、一般社団法人全国心理業連合会へ資格申請、一般社団法人プロフェッショナル心理カウンセラー協会へ会員登録手続きを行って下さい。**どちらもオンラインでのお手続きとなります。**
 資格申請料は19,800円、一般社団法人プロフェッショナル心理カウンセラー協会への会員登録手続き28,000円、**クレジットカードでの決済をおすすめ**しています。なお、納入後の返還は致しておりません。
- (13) 資格認定証交付 **資格認定申請期限後、2ヶ月以内に発送予定**
 方法は郵送のみとなります。資格認定証等一式を認定教育機関に郵便局配達記録で送付します。なお、資格取得後は、3年ごとの更新制度により、クオリティを保つことをめざしています。
 ※受験料等は変更になる可能性があります。ご了承下さい。



よくあるお問合せ

Q6

災害支援・ボランティアなど自己申告でもいいですか？
 また、ボランティアの傾聴も単位になりますか？

傾聴ボランティア等もちろん、カウンセリング実習研修の時間数に相当します。ただし、基本的には証明書が必要です。災害支援団体、ボランティア団体等に証明を出してもらえるかを確認してみてください。証明書を取得できない場合は、現場に関する詳細な記述書類を認定教育機関にご提出下さい（書類審査の結果、認められない場合があります）。

Q7

認定教育機関以外での学習歴は認められるのか？

基本的には認められますが、どういうカリキュラムを学んでこられたかの証明書を認定教育機関である所属校に提出し、審査を受ける必要があります。詳しくは所属校にお問い合わせ下さい。

代表理事挨拶 プロフェッショナル心理カウンセラー 浮世満理子

～プロフェッショナル心理カウンセラーとして、社会から求められるもの～

これからプロフェッショナル心理カウンセラーをめざされるみなさんは、ご自分の人生の中での心理学との出会いを通じて、認定教育機関で多くの学びを経て、今この願書を手にしておられることと思います。現代社会においてプロフェッショナル心理カウンセラーは、利用者のみなさんが安心して、カウンセリングサービスを受けることができるようになるために、全国统一認定資格として誕生しました。

産業界や地域で実践的に役立つ心理職は、心理学の知識や理論だけに偏ることなく、現場での実習経験や、これまでの社会経験が重要視されます。人と触れ、かかわってきた社会経験があるからこそ、社会の中で素晴らしい心理カウンセラーとして、人に寄り添い、耳を傾けることができる。高い傾聴のスキルを持ち、根気強くしっかりと相手と寄り添っていく。プロフェッショナル心理カウンセラーには、そういった高い技術とマインドが必要になります。

また、信頼される人格であること、受容的なコミュニケーションを持っていること、法律分野や医療・地域など様々な強い連携を持ち、フットワーク良く、利用者の相談に応じること。そして、社会のニーズに柔軟に対応できる実践的で実働的な心のケアの専門家が、私たちプロフェッショナル心理カウンセラーであるということです。自分のやりたいスタイルでカウンセリングを提供するのではなく、現在、使用されているコミュニケーションツールを用いたカウンセリングを提供する。2019年からプロフェッショナル心理カウンセラーの履修カリキュラムに「SNS カウンセラートレーニング」を必須としたのはこのためです。国や自治体をはじめ、企業・団体等で多くの SNS 相談が実施されるようになり、SNS カウンセラーは、ますます活躍の場が広がることと思います。

最後に、心のプロであるカウンセラーは自分自身と対話し、いつも安定した状態で活動にのぞめるように、教育分析を義務づけました。アメリカなどの先進国では常識とされていることです。倫理研修も義務づけられ、法律的な側面や守秘義務の強化など、意識を高めていきたいと思っております。どの分野でも、プロフェッショナルとよばれる専門家には、高い倫理観と社会的使命感が必要です。これからの時代を担っていくプロフェッショナル心理カウンセラーとして、高い自覚を持ち、資格の修得に励んでいただきたいと思います。

手続きにあたっての注意 ※上級・一般共に

- (1) 配慮について
 - ・障がいをお持ちの方や外国籍の方など、受験にあたっての配慮を希望される方は、希望する旨をご連絡下さい。
「インターネット出願」・・・所定欄にご入力下さい。
願書郵送・・・申請書（書式自由）を添えて、ご提出下さい。
- (2) 在宅受験に関する誓約書について
 - ・「インターネット出願」の方は、所定欄にご入力下さい。
 - ・願書郵送の方は、誓約書（別紙）を願書と一緒にご提出下さい。
- (3) 在宅試験環境について
 - ・一次試験、二次試験とも、WEB 会議サービスを使いますので、パソコン、Webカメラ、マイクをご準備下さい。（スマートフォン・タブレット不可）
 - ・ネットワーク環境は、有線・無線 LAN どちらでも可です。（FreeWifi は不可）
 - ・PC（Windows8 以上を推奨）。
 - ・ブラウザ Internet Explorer 10 以降、Google Chrome 53.0.2785 以降、Microsoft Edge 38.14393.0.0 以降、Safari 10.0.602.1.50 以降、Firefox 49.0 以降を推奨。
 - ・事前に接続テストを行いますので、当日と同じ環境でご準備下さい。
- (4) 合格通知後
 - ・正式にプロフェッショナル心理カウンセラーとなるには、一般社団法人プロフェッショナル心理カウンセラー協会への会員登録手続きが必要です。
- (5) その他
 - ・受験料・認定申請など、お支払いの際に手数料が発生する場合は受験者のご負担となります。
 - ・送付した書類等の到着確認は一切致しておりません（郵送時に交付される簡易書留郵便物受領証の引受番号により、各自郵便局で確認して下さい）。
 - ・オンライン出願の方は、「インターネット出願」のマイページを確認して下さい。

心理カウンセラーの養成スクールは、 信頼できる「認定教育機関」で学びましょう。

<p>アイ・ディア ヒューマンサポートアカデミー</p>	<p>東京本校 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-9-9 SANWA 青山ビル 9F 【TEL】 03-5766-4747 【E-mail】 info@idear.co.jp</p> <p>大阪梅田校・大阪サロン 〒530-0014 大阪府大阪市北区曽根崎 1-4-5 エステムプラザ梅田 202 号 【TEL】 06-6949-8406 【E-mail】 osaka@idear.co.jp</p> <p>名古屋校 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 3-11-1 ライオンズマンション栄第 3-802 【TEL】 052-770-4462 【E-mail】 nagoya@idear.co.jp</p> <p>沖縄校 〒904-0401 沖縄県国頭郡恩納村字名嘉真 2288-226 18 号棟 【TEL】 098-967-7833 【E-mail】 info@idear.co.jp</p> <p>宮城ライセンス校 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区中央 3-8-5 新仙台駅前ビル 326 号 【TEL】 090-2790-7272</p> <p>富山ライセンス校 〒930-0997 富山県富山市新庄北町 24-24 (株式会社ヒューマン・サポート内) 【TEL】 076-451-3312</p>
<p>東京メンタルヘルス こころアカデミー</p>	<p>〒171-0021 東京都豊島区西池袋 2-39-8 ローズベイ池袋ビル 3F 【TEL】 03-3986-3229 【E-mail】 info@cocoaca.jp</p>
<p>一般社団法人 日本メンタルトレーナー協会</p>	<p>〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-9-9 SANWA 青山ビル 7F 【TEL】 03-5468-5196 【E-mail】 info@mentaltrainer.or.jp</p>
<p>東京ビジネスカウンセラー学院</p>	<p>〒104-0031 東京都中央区京橋 1-3-2 モリイテビル 4F 【TEL】 03-3516-1301 【E-mail】 info@tb-labo.jp</p>
<p>特定非営利活動法人 セルフ・カウンセリング普及協会</p>	<p>〒215-0003 神奈川県川崎市麻生区高石 4-23-15 【TEL】 044-955-3226 【E-mail】 self-c@jt7.so-net.ne.jp</p>
<p>浦和カウンセリング研究所</p>	<p>〒330-0055 埼玉県さいたま市浦和区東高砂町 2-3 プリズムローズビル 6F 【TEL】 048-767-7944 【E-mail】 info@ed-cou.com</p>
<p>日本マイクロカウンセリング協会 TKN 心理サロン</p>	<p>〒556-0016 大阪府大阪市浪速区元町 1-2-17 フクダ不動産 NAMBA ビル 7F-B 【TEL】 06-6777-2518 【E-mail】 tkn@cocorotkn.com</p>
<p>一般社団法人 カウンセラーカレッジ石川</p>	<p>〒920-0935 石川県金沢市石引 2-22-21 【TEL】 076-222-0040 【E-mail】 cci@bd5.so-net.ne.jp</p>
<p>メンタル グローアップ スクール</p>	<p>〒892-0821 鹿児島県鹿児島市名山町 9-6 第一名山ビル 305 号 【TEL】 099-219-3955 【E-mail】 grandbless2013@gmail.com</p>
<p>一般社団法人ハートリンクス</p>	<p>〒500-8237 岐阜県岐阜市切通 7-2-2 【TEL】 058-248-0577 【E-mail】 info@heartlinks.net</p>
<p>一般社団法人 日本グリーフ専門士協会</p>	<p>〒110-0015 東京都台東区東上野 2-2-9 川島ビル 5F 【TEL】 050-6877-5998 【E-mail】 office@grief-care.jp</p>
<p>ストレスチェックコンサルタント 専門認定教育機関 ウインカレッジ</p>	<p>〒231-0012 神奈川県横浜市中区相生町 3-63-1 パークアクシス横濱関内 SQUARE 3F 【TEL】 045-225-8500 【E-mail】 info@win-smile.com</p>

一般社団法人 全国心理業連合会

<本部・試験センター> 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-9-9 SANWA 青山ビル 7F
TEL 03-3400-3737

<URL> <https://www.mhea.or.jp/>